



1月幼稚園だより

令和8年1月8日
千代田区立番町幼稚園
園長 美越 英宣

初春の光に包まれて～開園を祝う会、番町子ども劇場～

園長 美越 英宣



(番町幼稚園HP)

新しい年を迎え、皆様に心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、園の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も、子どもたちの健やかな成長のため、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

さて、昨年12月、番町高等尋常小学校附属幼稚園創立136周年(11月22日)、並びに番町幼稚園開園32周年(12月4日)を祝う会を開催いたしました。長きにわたり地域とともに歩んできた歴史を振り返り、未来への希望を語り合う貴重なひとときとなりました。

当日は、番町幼稚園出身であり、麹町出張所地区連合町会長である横山義文様をお迎えしました。横山様からは、かつて迎賓館で行われた運動会の思い出や、当時の写真をご紹介いただき、園の歩みを鮮やかに感じることができました。さらに、100周年記念のオルゴールによる園歌の音色を披露していただき、会場は温かな感動に包まれました。

この「開園を祝う会」は、記念行事にとどまるものではなく、地域と園が共に歴史を重ね、未来を紡いでいく意義を確認する場です。子どもたちが安心して学び、育つためには、地域の支えと絆が欠かせません。こうした節目を皆様と共に祝えることは、園にとって大きな喜びであり、次代を担う子どもたちへの力強いエールとなります。

続いて、去る12月13日(土)、番町子ども劇場を盛大に開催させていただき、多くの保護者や地域の皆様、そしてご来賓の方々にご参観いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

子どもたちは、この日に向けて自分の力を発揮し、仲間と共に表現することを楽しんでいました。その姿は、まさに一人一人の成長の証であり、会場に温かな感動を広げてくれました。

さらに、皆様からいただいた温かな拍手は、子どもたちにとって何よりの励みとなり、自信を深める大きな力となりました。その瞬間、子どもたちは「認めてもらえた」という喜びを胸に、次の挑戦へと踏み出す勇気を育んでいました。こうした経験の積み重ねが、子どもたちの心を豊かにし、確かな成長へとつながっていきます。

3歳児もも組は「もりのおふろやさん」をテーマに、ペンギンやカエル、カメ、ゾウになりきり、「ゴシゴシ シュッシュ」の掛け声とともに仲間とお風呂に入る楽しさを表現しました。遊びの延長にある劇を通して、友達と一緒に動く喜びや言葉のやりとりを味わう姿が印象的でした。

4歳児さくら組は、ネコ、コウモリ、ペンギン、プリンセス、キョウリウウなど多彩な役を演じ、病气やけがをしてお医者さんに治してもらう場面を生き生きと表現しました。役になりきることで、子どもたちは想像力を広げ、仲間との協力を深めていました。



5歳児うめ組は絵本「スイミー」を基にしたお話に挑戦しました。一人一人に自分で考えたセリフがあり、園児は「パワーアップカード」を活用しながら、教職員にセリフを見せて自信や意欲を高めてきました。これらは演奏や歌にもつながり、子どもたちの表現が一体となった場面には、会場全体が感動に包まれました。

こうした活動は、単なる発表の場ではありません。子どもたちが役になりきり、仲間と協力しながら表現することで、言葉や身体の動き、心の通い合いを学びます。それぞれの発達段階に応じた取組が、子どもたちの自信と意欲を育み、豊かな人間性を培う大切な機会となっています。

2学期の教育活動を支えてくださった保護者・地域の皆様、改めて深く感謝申し上げます。3学期も、子どもたちの笑顔と成長のために、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。